



コミュニティ を 編み直す ～つなげる力とアート～



©T.Aoki

基調講演

「新しい広場を作る」

東京藝術大学 特任教授
劇作家 演出家 劇団青年団主宰
こまばアゴラ劇場芸術総監督

平田 オリザ

2015年**11月7日(土)**
13:00~16:10 (開場 12:00)
iichiko総合文化センター
音の泉ホール

パネルディスカッション

○コーディネーター

棕野 美智子 元大分大学福祉科学研究センター教授

○パネリスト

平田 オリザ 基調講演講師
中川 眞 大阪市立大学大学院文学研究科 教授
松岡 勇樹 株式会社アキ工作社 代表取締役社長
三浦 宏樹 大分県芸術文化スポーツ振興財団 参与

対象者

福祉・医療・アート関係者、行政関係者、
一般市民 (手話通訳・要約筆記あり)

問合せ先 / 申込み先

大分大学福祉科学センター
TEL/FAX:097-554-7450
E-mail:fukusi@oita-u.ac.jp

参加無料
先着500名

コミュニティを編み直す つなげる力とアート

2015.11/7(土) 13:00~16:10

高齢化と人口減少、グローバル競争が進む中、各地で地域社会の存続が危ぶまれ始めています。しかし一方で、家族や職場のあり方が変わり、次世代を育み、仕事を創りだす地域社会の重要性は逆に増えています。そこで求められているのは、「誰もが誰もを知っている」同質性に根ざした濃密なコミュニティではなく、「誰かが誰かを知っている」多様性を編み込んだ、寛容で緩やかにつながるコミュニティです。それが、支え合いの基盤となるとともに、若い世代を呼び込み、創造性を刺激し、新たな産業を創りだすからです。

大分ではアートによるまちづくりが各地で進められています。本フォーラムは、それを、観光の振興やまちのにぎわいづくりにとどまらず、新たな社会を拓くための、多様性を編みこみ、寛容を醸し出し、想像力を育む「コミュニティの編み直し」につなげるための取り組みについて、多様な視点から考えることを目指します。

基調講演 「新しい広場を作る」 平田オリザ

『誰もが誰もを知っている強固な共同体』を、少し広域に緩めつつ、『誰かが誰かを知っている緩やかな共同体』にみかえていかなければならない（『新しい広場をつくる』から）。まちのそこかしこに出会いの場やコミュニティスペースをつくっていくための接点としてアートはどのような役割を果たすことができるのか、これからの地域に必要な知恵と方法を学びます。

平田 オリザ

1962年東京生まれ。劇作家、演出家。こまばアゴラ劇場芸術総監督、城崎国際アートセンター芸術監督、劇団「青年団」主宰。東京藝術大学 COI 研究推進機構特任教授、大阪大学コミュニケーションデザイン・センター客員教授、四国学院大学客員教授・学長特別補佐。

1982年に劇団「青年団」結成。「現代口語演劇理論」を提唱し、1990年代以降の演劇に大きな影響を与える。1995年『東京ノート』で第39回岸田國士戯曲賞受賞。2003年日韓合同公演『その河をこえて、五月』で、第2回朝日舞台芸術賞グランプリ受賞。2006年モンブラン国際文化賞受賞。2011年フランス国文化省より芸術文化勲章シュヴァリエ受勲。近年は各国との国際共同製作作品やロボット・アンドロイド演劇にも取り組んでいる。

プログラム

- | | | |
|---------------|-------|-----------------|
| ▶ 13:00 | | 開会 主催者挨拶 |
| ▶ 13:05~14:15 | | 基調講演 「新しい広場を作る」 |
| ▶ 14:15~14:30 | | 休憩 |
| ▶ 14:30~16:10 | | パネルディスカッション |
| ▶ 16:10 | | 閉会挨拶 |



申込期限 11月2日(月)

FAXもしくはメールで申し込みをお願いします。
 参加者が定員に至った場合は、期限前に申し込み受付を締め切ります。
 定員に満たない場合は当日参加も可能です。

手話通訳、要約筆記あり

FAX 申し込み記入欄

FAX : 097-554-7450

✉ fukusi@oita-u.ac.jp

所属先		
氏名	(フリガナ)	
	お名前	
連絡先	電話番号	FAX
	メールアドレス	@

※お預かりした個人の情報は本フォーラム以外では使用いたしません。